

TNTmips における ASTER Data の インポートずれる! ゆがむ?について

ASTER の HDF CD-ROM には " 3つの座標情報 " があります!!

1. Geolocation Field Data という11×11ピクセルのラスタ型座標データ

TNTmips がジオリファレンスに用いているものですが、これは地心緯度と地心経度の記載された GEOCENTRIC という座標情報で、そのままの値をジオリファレンスとして採用すると 20km ほど正しい座標からずれてしまいます。もちろん正しい計算を行えば、Geocentricな緯度を通常使われているGeodeticな緯度に変換することも出来ます。

これにつきましては、
現在、米国マイクロイメージ社へ
修正依頼を送っております。

2. Browse HDF File (.brs) というメタデータファイル内の SCENEFOURCORNERS

この座標情報は、レベル1A由来の実データ四隅情報で、レベル1B の画像にこの四隅の値を入れても正しい値ではありません。

以前弊社ホームページで紹介した
座標情報はこちらでしたが
修正いたしました。

3. HDFファイルに組み込まれているメタデータの SCENEFOURCORNERS

この値はGEODETIC という測地座標情報で、スキュー部分を含めた四隅の座標値です。こちらがジオリファレンスとして採用すべき正しい四隅情報です。

しかし、TNTmipsの
HDFASTER インポート では、
このメタデータが
インポートされません。

TNTmipsのInspect-Files機能を用いてメタデータを直接見ることができます。しばらくはこの方法で四隅の座標情報を読み、手入力にてジオリファレンスしてください。
よろしくお願いいたします。

詳しい 解説はこちらのウェブページをご覧ください

http://www.opengis.co.jp/htm/basic/inspect_files.htm

また、随時最新情報をこちらのサイトより発信しておりますので
チェックしてみてください。

<http://www.opengis.co.jp>